



6月の終わりの夕方、風がやってきてあっという間に真っ黒な雨雲に支配され、バケツの水をひっくり返したような大雨が長く降りました。園庭では、大急ぎでおもちゃを片付け、南西からやってくる風を背中を感じながらザッと降り出した雨にびっくり……。そんな毎日の生活の中で子どもたちに自然の事象を感じられる環境を職員とともに考えて設定しています。少しの瞬間でもよいので風を感じたり、雲の流れを観察したりして五感を使って生活してほしいと願っています。

今月は4・5歳児の自然グループ3回に分けて山・海・空を調べに出かけます。ひかり・だいちが調べたことや、体験したことを持ち帰って、いぶきやつぼみに伝え、深めていけるよう保育を進めていきます。4月に生まれたカマキリの赤ちゃんも見えないところで大きくなりました。雨や風が吹いても飛ばされることなくかえで保育園の園庭に住み着いてくれています。次回出会うときはもっと大きくなってきているでしょう。

子どもたちとの体験は海や、山だけでなく、園の近隣のお店や、公園に出かけても様々なことに出会い、不思議だな～をたくさん感じて、調べていきながら自分の考えることも発見してもらいたいと思います。



さて、6月30日～7月1日『同園お泊り会』を開催しました。かえで保育園を卒園しても懐かしくて、いつでも戻れる場所、自分たちの故郷であることを大切に保育をしています。そんな中、「卒園生もお泊り会をしてほしい」という卒園生の望みをかなえるために半年前ほどから企画し、じっくり温めてきました。

往復はがきでお知らせをしましたがそれぞれの思いを書いて返信。1年生から6年生までの70名の卒園生が参加してくれました。ちょっと照れくさそうに玄関で「久しぶり!」「あ～この先生覚えてる～」との会話で始まりました。70人の子供たちが集まり、椅子づくり・貝殻アート・縄跳びづくり・クッキングをして素敵な作品が完成しました。狭い階段で友だちとぎゅ～ぎゅ～に引っ付いて、うれしい顔で記念撮影。

このびっくりする企画に卒園生や在園の保護者の方々が大勢お手伝いくださり、すべてがスムーズに進みました。職員は私を含めて6名で進めていく企画でしたのでこの大勢のお手伝いは本当に助かりました。ありがとうございました。

ひと時の時間でしたが、懐かしい顔ぶれに保育園でお世話させていただいたお子様の成長とふっと幼い時に戻る表情に出会え、少しびっくり企画でしたが進めてよかったと思います。

これからもこの保育園がお子様にも保護者の方々にとっても「ふるさと」であり続けたいと思います。

～思い出いっぱい～



にこにこメッセージ

最近梅雨のジメジメとした日が続いたかと思うと、夏のような暑い日もありました。洗濯は外に干せるか、部屋干しにするかで気分が全然違いますね。私は暑くても太陽が輝く夏が好きで、洗濯物は外でお日様に乾かしてもらう方が気分がすっきりします。7月からは子どもたちが楽しみにしているプールあそびも始まります。元気な毎日をご過ごせますよう七夕の短冊にも願いをこめて書きたいと思います。

6月18日は大阪を震源とした大きな地震がありました。園内では登園していた子どもはまだ少なく、大半の子どもたちは家で地震に見舞われました。私も出勤途中のバスの中でしたが、揺れが治まった後、すぐに発車できましたので、地震の20分後には園に来ることができました。園にいた子どもは「今日の地震の訓練は本当に揺れたよ」と現実のことと訓練とが交錯していました。揺れた瞬間のことを不安に思い続けた子どもも少なく、でもどう行動すべきかということは、普段の避難・防災訓練が生かされたと感じます。これから先もどのようなことが起こるかわかりませんが、大人だけが考えて行動するのではなく、子どもも「安心・安全にご過ごせること」を考えられるよう保育すすめていきたいと思います。

主任保育士 藤森 寿美

せんせいからのおはなしコーナー

今年は幼児クラスの担当となり、元気な子どもたちと楽しく過ごしています。毎日全力な子どもたちを見ながら、ふと自分の5歳の頃を思い出してみました。

私は豊岡市でのんびりと育ちました。私の地元では4歳まで保育園、5歳になると全員小学校の隣にある幼稚園に通います。毎朝小学生のお兄さん・お姉さんたちと一緒に片道45分かかる道のりを歩いていました。しかも山のふもとに家があったため、小学校まではほぼ坂道。リュックはパンパン、そんな道のりを行って帰ってくるために水筒は大きい、それでも自分で歩くしかなく、最初の頃はお姉さんたちに水筒をもって助けてもらったことを覚えています。

さらに、登園は小学生も一緒ですが、降園は5歳だけで行っていました。もちろん大人はいないため毎日が冒険です。草花の蜜を吸ったり（野イチゴや酸っぱい草も食べていました）、落ちているものを探してあっちこっち、冬は除雪車が通って端に積み上げられた雪山の上を歩いて長靴がはまり、みんなで引っっこ抜いてもらったり、気がつけばその場にリュックを置いて帰ってしまったり…怖いもの知らずの幼少期を過ごしたな、と思う事ばかりです。

今振り返ってみると、子ども同士（異年齢や友だち）の関わりの中で、遊び方や自然の事象・生活の仕方などを学べたように思います。今年の幼児では自然グループが新しくでき、様々なところへ出かけていきます。その中で私の体験も子どもたちにとってなにかいいきっかけになれば、思いわくわくしています。

保育士 立田 瑛怜菜

ねらい：「いろいろなものや音に触れてみる」

う た：「あめふり・あめふりくまのこ・イチリ・オデコサンヲマイテ」

梅雨に入り、雨の日も増えてきました。お部屋では先生が“あめふり”や“あめふりくまのこ”を歌うと、先生のお顔をみて身体を揺らしたり、パチパチと手を叩いたりリズムを楽しんでいます。わらべうたの“チョチチョチアワワ”では「アワワ」の部分に合わせて、口に手を当てて「あわわわ・・・」と一緒に楽しんでいます。少しずつ言葉やリズムに合わせることが面白くなってきたようで、歌が聞こえると嬉しそうに目を合わせてくれるめばえさんです。



“なにしてるんだろう？”

以前かえでcaféで行われたバザーで、めばえさんもおもちゃをいただきました。太鼓のおもちゃで、みんなの前に出すと早速「なんだなんだ？」と集まってきました。先生がバチで太鼓を叩いてみると「ポコッ」と響く音が聞こえ、思わずハッと表情が変わります。もういっかい！と人差し指で伝えてくれる子どもたちもいました。

また、さっきまで太鼓の存在に気づいていなかったお友達も音が聞こえると思わず太鼓の方を振り向きましました。少しずつ“太鼓”に近づいて手を伸ばし、「これがなったんだよね？」と“不思議なもの”を実際に触って確かめていきます。手で触っても音は鳴らず、「？」と謎は深まります…。

そこにじっとバチの動きを見ていたAちゃんがやってきて、そのバチを持ちました。Aちゃんはみんなが見ている中で、先生と同じように太鼓を叩きます…。「ポコッ」！

みんなの気持ちが一緒だったのか、思わずみんな声を出して笑っていました。同じ空間にすることで面白さも増えていくのですね。



“ボールがいっぱい”

先日は部屋いっぱいにボールプールにしてみました。たくさんのボールが袋の中から出てくる様子をみて、大喜び！ボールを手にとってみたり、ボールのベッドに横になってみたりと指先・全身で、身体を動かして楽しんでいます。ちょうど両手で包めるほどの大きさのボールは、ぎゅっと力を入れて握ったり、片手で持って投げたりと運動あそびにもつながったようです。

また、「ぼく（わたし）のはこれ」と好きな色を選んで大切に持っている子どもたちもいました。たくさん色がある中でも自分の中で「これだ」と、選ぶ感覚があるのですね。言葉には表れませんが、どのように物と関わるか、どの色を選ぶかだけでも、そのお友達の思いが伝わってきます。

“担任の思い”

めばえさんのそばで過ごしていると、「今こんな風に思っているんじゃないかな」と表情を見ながら想像することがたくさんあります。夢中になったり戸惑ったりと、いつもたくさんの感情を表してくれるめばえさんは、色んなことを学んでいるのでしょうね。

ゆったり過ごせる環境を考え、暑い夏、お部屋の中でも身体を動かせるような時間もとっていきたいです。そして、その中で一人ひとりの思いにも大切に過ごしていきます。

ねらい：「身体全体で水や泥を感じてたのしもう」

う た：「うみ」「おばけなんてないさ」 わらべうた「ももや」「ココハトウチャン」

梅雨に入り、じめじめとした日が続いていますが、子どもたちは元気いっぱいに遊んでいる毎日です。保育園での生活にもすっかり慣れ、水分補給が終わると自分で帽子を取って園庭に勢いよく駆けつけていきます。汗ばむ日も多くなってきて水遊びも気持ちの良い時期ですね。額に汗いっぱい浮かべながら楽しそうに遊ぶ子どもたちを見ていると、こちらまで楽しくなってきます。



～絵の具って気持ちいい～

雨の日の室内遊びでは絵具遊びを行いました。初めての絵の具遊びに「さわっていいの?」「ちょっと怖いな・・・」といった表情を浮かべていた子どもたち。それでも‘ちょん’と触ってみると次の瞬間にはダイナミックな遊びに早変わり！両手、両足に絵具を付けて紙の上を歩いたり、手形をつけてみたりと、汚れるのなんてお構いなしにのびのびと遊んでいました。終わる頃には顔まで絵の具だらけという子もいるほど、夢中になっていた様子でした。保護者会の講演会も含め、何度も絵の具に触れていくたびに、絵具遊びが大好きになっていったふたば組さんでした。



～自分でやってみる！～

少しずつ生活の流れにも慣れてきてきました。先生が声をかけると、排泄の時間、外に行く時間、ご飯の時間、など子どもたち自身がよく理解してきています。外から帰ってくると手を洗いに行ったり、ご飯の時間になると自分のタオルを見つけて座ったりと自分のことは自分でやろうという姿が見られています。排泄の着脱も「う～ん」と言いながらも一生懸命ズボンを下ろしたり、履こうとしたりしています。つい、手伝ってしまいたくなる気持ちをぐっところえて自分で出来ること、やってみようとする姿を傍で見守ることを大切にしています。その中で、子どもたちに「やった!」「できた!!」を味わい、その気持ちをしっかり受け止め共感しながら「やる気」につなげたいと思います。



“担任の思い”

遊びの中で少しずつ友達との関係も増えてきました。友達の遊びを真似してみたり、一緒にままごとをしたりと、一緒に過ごす空間を楽しんでいます。まだまだ言葉は少ないですが、それでも目を合わせて笑いあったり、歌を歌ったりと気持ちが通じ合っている姿を見ると、子どもたちの楽しい気持ちがこちらまで伝わってきます。これからも暑い日が続きますが、水分補給をしっかりとおこないながら、水遊びや泥遊びなどたくさん遊んでいきたいと思います。

西口智子 福井真裕子 高田奈沙

ねらい：「好きな遊びを見つけて、友達と遊ぶ。」

う た：「そうさんのぼうし・アイスクリームのうた・むすんでひらいて」

最近ほママごとや外遊びを友だちと工夫しながら遊ぶことが増えてきました。声を掛けあいながら「これどうぞ」とママごとを楽しんだり、色板と動物の人形を組み合わせて動物園を作って楽しむ姿が見られます。園庭ではダンゴムシ探しや水や泥の感触を楽しみ、思いっきり楽しんでいます。また、お兄ちゃん・お姉ちゃんと一緒に手を繋いで遊んでもらったり、めばえさんやふたばさんのことが気になり一緒に遊んであげたりテラスから「おいで～」とやさしいまなざしで声を掛けてあげる姿も見られほっこり。異年齢での関わりも増えてきました。

～積み木～



積み木を少しずつ部屋に置くようになってから子どもたちも先生の積み方を真似してタワーのように高くしていったり丸く円のように繋げて遊びたい、いろんな風に積んだり並べたいと想像しながら楽しんでいます。

お友達と一緒に「そーっとね、そーっとだよ」と言いながら一緒に楽しんでいます。倒れた時でも「もういっかいやろっか」と励ましあいながら何度も繰り返し挑戦しています。



～おおきくなあれ～

種から植えたオクラが大きくなり、大きなプランターにお引越しをしました。「おおきくなったね」と言いながら毎日お水をたくさん上げてくれています。そしてだいちぐみのお兄ちゃんがなんと莖に何かの卵を発見！図鑑で調べてくれると「かたつむりのたまごかなー？」と。おくらだけでなくたまごが大きくなるのも楽しみです。



～あわあわとせんたく～

水や泥んこが大好きな子どもたち。泡遊びをすると「あわあわだ～」と泡の感触を楽しんでいました。白い泡を見て「きれいだね」という子もいました。お洗濯ではお部屋のハンカチや赤ちゃんの服、さらに「もっとしたい！ふたばさんのものもする！」と言ってふたば組さんのハンカチもきれいにこしこしお洗濯をしてあげて大満足でした。

“担任の思い”

子どもたちの遊びが充実していく毎日です。子どもたちの興味が広がり目につくもの「これは何？」「なんでこうなるの？」といろんなことが気になる様子。友達に聞いて教えてもらったり先生に聞いて「そうなんだ」と納得し遊びに繋げていくようになりました。言葉も増えてきて遊びの中で会話を楽しむ姿も見られます。暑い夏が近づいてきますので身体をたくさん動かし、子どもたちのしたい遊びが充実するように見守っていきたいです。

林 千紗・星加 由美子・山本 あかね

ねらい：「自分でやってみようとする」

う た：「カメのえんそく（3番）」「そらに らくがきたいな」

6月に入り、子どもたちもやってみたいことや、気になることがたくさん出てきて、様々なことを一緒に楽しんでできました。雨の日にカッパを着て園庭を散歩したり、ピアノが好きなお友達ティッシュの箱を使って自分のピアノを作ってみたり、だいち組にあこがれて真似っこをしてクイズを作ってみたり…。毎日が子どもたちの“やってみたい！”という思いでいっぱいです。何事も自分でやってみたい気持ちを大切にしながらチャレンジする場をたくさん設けていきたいと思います。



“カメ探しに出発！”

須磨海浜水族園でカメを見たことがうれしかったようで、先月にも書いてましたように、そこからも遊びがどんどん広がっていました。保護者の方から、浜脇小学校にカメがいるよ！ということを知り、カメを探しに行ってきました！朝からとてもワクワクした様子で、「カメ探し行くよ！」と声を掛けると、みんな急いでカメの甲羅を背負って準備をしていました。浜脇小学校につくと、校長先生がここに待っていてくれました。「うわあ～、小学校大きすぎる！」と大興奮で、カメがいるところまで校長先生に案内してもらいました。カメがいるところまで到着すると、中に落ちてしまいそうなくらい前のめりになって覗いていました。「カメキチとおんなじ！だって耳の所赤いから！」「のーんびり泳いでる！」「カメさん！いぶきさん来たよ！」など思い思いに話していました。最後には「カメの遠足」の歌もカメさんたちに聴かせてあげて大満足でした。

“お買い物に行ってみよう！”

先月いちごジャムを作ったことが、楽しかったようだったので、6月でもジャム作りを計画しました。なんの果物を使って作るかは決めずに、いつも野菜や果物を保育園まで届けてくれているマンダリさんまで歩いて行きました。「なにを買いに来たのかな？」と聞かれて少し考えこんでいましたが、「ジャム…。」「ジャムつくるねん…。」と、



ぽつりぽつりと話始めました。「ジャムを作るならね、ど

の果物がおいしいかな？」とお店の方がいろんな果物を紹介してくれて、みんなで考え「デラウェア」というぶどうを買いました。

また、店内をまわって見せてもらい「こんなに大きいスイカあるよ！」「いつも保育園で食べてる みしょうゴールド！」など、発見がたくさんあり、とてもうれしそうでした。

いぶき組の初めてのお買い物は大満足でした！



“担任の思い”

浜脇小学校に出かけたことも、マンダリさんにお買い物にいったことも、子どもたちにとっては大冒険で、見るものすべてに目をキラキラさせていました。生まれてきてから3、4年だと思うと、まだまだ知らないことだらけの世界で、大人が予想している以上に、喜んだり、悲しんだり忙しい子どもたち。でもきっとその一つひとつが子どもたちにとっては大切な出来事なんだろうなと感じます。一緒に喜んだり悲しんだりしながら一日一日を大切に過ごしていきたいです。

林 奈津美

ねらい：「自分の思いを言葉で伝えよう」

う た：「すいかの名産地」「どんな人が好きですか」

今年は雨があまり降らず、天気の良い日が続きましたね。子どもたちは「暑いな～」と汗をかきながら、園庭に咲いている朝顔や植物での色水遊びや虹探しを楽しんでいます。しゃぼん玉から色をつけて吹いたその時々に変わる色や形を見て楽しんでいました。だいちさんから始まった水族館クイズを図鑑をみて考えてみたりと、子どもたちの中で“やってみたい”が増えてきました。

“虹！どこにいるのかな”

梅雨の時期ですが、ひかり組の子どもたちは「雨の次は虹ができるかもしれないね」と『虹の向こうに』の歌詞を思い出しながら、ワクワクして空を見上げることが多かった6月でした。天気の良い日には「あ！今日虹できるんじゃない？」とだいちさんが図書館から借りてきてくれた虹の本を見ながらシャワーを出して虹が見えるかよく実験をしていました。ですが、思うような虹がなかなかできず「どこにいるのかな？」と探す日々が続いています。色水遊びや水槽を見たり、窓ガラスの中を見て虹を発見すると「虹見つけたよ！」とお友だちを呼んで色の名前や虹の形を目をキラキラさせながらはなしています。



“どっちでしょうか”

いぶき組から育ててきたじゃがいもの収穫をしました。茎を引っ張りながら力強く引っ張って「みんな手伝って～」と尻もちをつきながらも子ども同士で引っ張りあっていました。収穫後は実際の葉っぱをみながらクレパスで茎を描いてじゃがいもを貼りつけて小さなジャガイモ畑を作る子もいました。「たくさんある！」と形や大きさの違いからキタアカリとメークイーンの2種類のじゃがいもがあることを発見しました。クッキングでは、キタアカリとメークイーン2つの味比べをしました。包丁でゆっくり切りホットプレートで黄色じゃがいもが薄い透明色に変わる様子を不思議そうにみていました。お昼ご飯時に食べるのをワクワク！実際に食べてみるとほくほく～と美味しそうに食べていました。まだまだ沢山あるじゃがいもを見ながら次は何を作ろうか考え中です。



“担任の思い”

虹への興味が出てきてから、それぞれが遊んでいる時でも“虹”の言葉から自然と集まって、虹探しに行こう！と遊びが始まることに少しずつお友だちとの共通の不思議や興味を共感する姿が増えてきました。1つの出来事から遊びが広がることもあります。

クッキングを通してじゃがいもの形を実際に触って感じたことや、大きさ、重さの違い等クッキングだけの活動ではなく、芋スタンプやアートコーナーでの制作づくりなどの遊びに繋げていきたいと思います。

ねらい：「相手の話を最後まで聴く」「自分の持ち物を大切に扱う」

う た：「ばななのおやこ」

梅雨に入り、雨の中でも合羽を着たり傘をさして園庭で過ごしました。雨の園庭ならではの楽しさも感じられたのではと思います。落ちてくる雨粒を空き缶で受け、雨粒の音色をじっくりと楽しむ子の姿も見られました。室内では『クイズ作り』が大流行、生き物から食べ物、自分のことをクイズにする子もいました。そしてだいちさんの姿を見たひかりさん、いぶきさんまでもがクイズ作りに熱中していました。

既製のものを使いあそび込む楽しさもありますが、自分自身であそびを考え、作り出すことの楽しさを経験することで、何事も楽しめる心や考え工夫する力が育ってくれると考えています。

7月はプールあそびも始まります。様々な角度で水を楽しみ、不思議や発見からあそびを広げていきたいと思います。また、身の回りの支度を自身で行うことも大切に関わっていきます。



“げんきくんが教えてくれたこと”

かえでゆうびん5月号でも紹介しましたやもりの“げんきくん”一度2階のテラスで観察している際にどこかへ逃げてしまいました。子どもたちは「もしかするとテラスの下でお腹が空いているんじゃないか」と気にかけていました。1ヶ月程経った頃、園内で偶然やもりを発見！しかし脱走したみんなのげんきくんよりは体が小さいような…子どもたちにどのように伝えようかと迷いましたが、げんきくんのケースにこっそり入れて様子をみることにしました。1週間経っても一向にやもりの存在に気付く気配はありません。そこで、担任がケースを覗きながら声を掛けてみることにしました。「ん？何かいる…？」傍にだいちさんも気がつきます。「あ、ほんとだ！やもりがいる！」周りにだいちさんも集まってきました。「どこどこ」「え、本当にいる！」「げんきくんだ、げんきくんが帰ってきた！」だいちさんはげんきくんが帰って来てくれたのだと感じたようです。「でもどうやって入ったのかな」「分かった、いぶきさんとかが蓋を空けちゃって、その間に入ったんじゃない？」何か不思議なことが起きた時、必ずと言っていいほど“いぶきさん”が登場するのが面白いですね。

それからというもの、梅雨真っ只中の園庭に繰り出しげんきくんのためにご飯を探したり、土や葉っぱで快適なお家を作ったり、ケースの蓋にのぼるげんきくんの手の平を観察したりと、一緒に過ごしていました。

しかし、げんきくんが食べられる大きさの虫がなかなか見つからず、「アブラムシいないね」「きっと今日も探しても見つからないよ」だいちさんの中で諦めの声があがるようになりました。

5月29日、毎日のようにケースの蓋の上にのぼりぴたりとくっついていたげんきくんが、ここ数日姿を見せないことに気付きました。蓋を開けてそうっと中を覗いてみると…かくれんぼが大好きなげんきくんが、木の陰に隠れることもなく、ただじっと止まっています。「動かないね、冬眠してるのかな」「死んでるんじゃない」「寝てるのかもしれない」だいちさんはそれぞれ感じたことを言葉にしていました。一人の子が指先でそっと触れてみますが、動きません。次は手のひらに乗せてみますがぴくりとも動かないげんきくんを見て、“生きていない”ということにだいちさんも気がつきました。

「こんなにガリガリやん、だから死んでしまったんや」「お腹がすいてたんだね」「だってみんながご飯あげなかったからやんきつと」「みんながご飯くれるかなーって待ってたのかもしれない」誰かのせいでもなく、みんなでお世話をしあげられなかったこと、ご飯を見つけてあげられなかったことを、悔やんでいるようでした。

一人の子の提案で、園庭にお墓をつくり埋めてあげることにしました。「誰かに踏まれちゃうかもしれないから、ここはだめ」「松の木のしたにしよう」みんなで決めた場所に深く穴を掘りました。「そんなに穴深くしたら出てこれへんやん」「何で！げんきくんはもう死んじゃったから出てこないやん」「もうずっと生き返らへんねんで」げんきくに声を掛ける子の姿があったので、一人ずつ手に乗せて声を掛けてあげることを提案しました。驚いたのは、普段虫や生き物に触れることが苦手な子も、拒むことなく手の平にげんきくんを乗せていたことです。

「ぼくたちがご飯を見つけれなくてごめんね」「げんきくん、たくさんありがとう」



「かくれんぼ楽しかったね」最後に一人の子が、「お墓ってさ、お菓子とか好きなものをぽんって置いたりするやん、だからげんきくんのお墓のところにもアブラムシ置いてあげたい」そう話していました。

夕方、大雨が降り出しました。それを見て「あ！げんきくんのお墓大丈夫かな…」と心配する子の表情はいつになく真剣で思いやりに溢れていたように思います。

“担任の思い”

げんきくんが亡くなっていると気が付いた日は、偶然にも「久しぶりに『まあいいのち』が歌いたい」とだいちさんから声があがり、みんなで歌った日でした。命の大切さや尊さは実際に命の誕生や死に直面することで初めて感じるものだと思えて考えさせられました。「命は大事だよ」と言葉で教えられるよりもずっと大きなものを、げんきくんが教えてくれたように思います。また、普段友だちとのやり取りでは相手の想いと自身の欲求の狭間で葛藤しているだいちさんが、げんきくんのことを想い素直に「ごめんね」「ありがとう」と言葉をかけている姿が印象的でした。人との関わりでも、だいちさんのこの心の温かさがまっすぐに相手に伝わればと強く願います。

そして、それぞれが心に持っている気持ちを、言葉や表情で相手に伝えることがまだまだ上手いかずぶつかり合うことも度々あるだいちさん、自身が経験し感じた“想い”が相手にもあること、自身の言葉や行動一つで相手の気持ちが良くも悪くも変わることを、日々の生活の中で感じられるように見守り、より多く経験できるような機会を作っていきたいと思います。

河本 彩奈



めばえ・ふたば・つぼみからのお知らせ

- ・口拭きタオル 2 枚とエプロンを毎朝準備して下さい。
- ・ロッカーの中に着替えセットの準備をして下さい。
(体ふきタオルも一緒にセットをお願いします)
- ・持ち物への記名をお願いします。
- ・こまめに爪を切ってください。
- ・めばえ組の連絡ノートが変更します。

今後は毎日の保育者からの連絡はなくなります。子どもたちの 1 日の様子は口頭でお知らせしていきます。

いぶき・ひかり・だいちからの お知らせ

- ・毎朝 9 時半までに登園準備を完了して下さい。
- ・ノースリーブではなく、袖のついた服を着て下さい。
- ・週末には通園帽子も洗って下さい。

保護者の方からのおはなしコーナー

朝から、「今日は梅干し作るねん。」とか、「今日は〇〇の絵を描こう。」とか「みそがもうすぐできるねんでー」など、娘が待ちに待っていただいち組の日々はとても楽しいようです。小学校まであと一年。自由で充実した保育園生活が満喫できればいいな、と思っています。

だいち組 ようこさん

お迎えの時私を見つけると精一杯両手をあげ、ここだよ！！抱っこして！！のアピールに一日の疲れも飛んでいきます。

入園して出来ることが増えて成長を楽しみに過ごしています。

（その反面、すこーしだけ寂しくもあります笑）

めばえ組 よしえさん

お絵かきやぬり絵が大好きな娘は、登園カバンに毎日作品を入れて持って帰ってきます。

その作品を見るのが楽しみです。

お絵かきの解説を一生懸命する姿にほっこりとした気持ちになります。

ひかり組 さちこさん

年少さんになって保育園でしていた遊びを家でもやりたい！ということが多くなりました。牛乳パックを魚の形に切って、色を付けて水に浮かべて水族館ごっこなど、こんな遊び方もあるのかと、こちらでも驚かされます。

今まで、歌うことは恥ずかしいのかあまり歌っているところを見なかったのですが、今ではどこでも大きな声で歌うようになりました。

これからまた、どのように成長していくのかとても楽しみです。

いぶき組 あいこさん

降園後の父と息子のお楽しみは、西宮浜の消防署に行き大好きな車の見学、万代近くの公園で遊び香櫨園浜を散策、1～2時間かけて帰宅してきます。「ただいま！」の笑顔が充実した園での生活と降園後の散策を物語っているなと感じます。

ふたば組 みきさん

3歳になった息子。びっくりするほどおしゃべり上手になり、気がつくといろいろなことが出来るようになっていきます。

兄を見て、何でも自分でできると思い、チャレンジする息子。

見守っていきたいと思います。

つばみ組 みきさん

～お台所から～

日に日に日差しも強くなり、いよいよ夏本番ですね。子どもたちは汗をかきながらもしっかりと水分補給をしています。「ひやりんのコップ洗ってくださいーい！」と毎日何度もたくさんのコップを抱えて持ってきてくれます。暑い夏も元気いっぱい過ごせるように食べやすい、美味しいごはんをつくります。

<6月の食育活動の様子>

・スナップエンドウのすじ取り（ひかり）

最初は難しい～、やって！と苦戦していたひかりさんでしたができた子は苦戦しているお友だちに、ここをパチンとしたら出来たよと教えてあげていました。取れたクルンとしたすじを見て「見て、スナップエンドウの髪の毛だ」「こっち側にもすじがあった」と嬉しそうに取っていました。

・そら豆のさや剥き（だいち）

5月に引き続き2度目のそらまめのさや剥きをしました。もうだいぶ慣れたようであっという間に仕上げ、「これ中がふわふわだね」「前やった時よりちょっとかたいね」と発見したことを教えてくれました。

食事の時間そら豆が苦手ですと手を付けない子がいました。しかし、これさっきだいちさんが一所懸命剥いてくれたんだよと言うとすこーしかじっておいしいと一言。本当においしいと感じたかは分かりませんが
お兄ちゃん、お姉ちゃんがやってくれたということがおおきいんだなと実感しました。

・梅干し、梅ジュースづくり（ひかり・だいち）

つまようじでへたをとり氷砂糖と梅交互に一つ一つ丁寧に瓶の中に入れていきました。まだ2週間ほどしか経っていませんが、毎日のように「梅どうなった？」と気にかけてくれていて「昨日より赤くなってるんじゃない」「ちょっとずつ溶けてきてるね」とワクワクドキドキの毎日です。みんなで飲める日が楽しみです。

<7月献立の旬の食材>

きゅうり・とうもろこし・モロヘイヤ・枝豆・ズッキーニ・とうもろこし・冬瓜・トマト・ピーマン・オクラ・なすび・ゴーヤ・日向夏・メロン・すいか

<7月に予定してる食育活動>

・夏野菜ピザ作り（幼児）ピザ窯が完成してから行う予定です。

・流しそうめんをたのしみます。

そのほかに野菜の皮をむいたりちぎったり、夏野菜に触れる等を予定しています。

食中毒や衛生面に十分注意し野菜の下処理中心に行っていきます。



おやつサンドイッチ作り（幼児）



たまねぎの皮むき（いぶき）



レタスをちぎる（つぼみ）



スナップエンドウのさや取り（ひかり）



ごはん当番（だいち）



梅干し作り（だいち）



・7月10日～20日 関西学院大学の学生が3名実習に入ります。

・自然グループ（4・5歳）出かけます。

予定表を参照して下さい。

ープールあそびがはじまりますー

・つぼみ、いぶき、ひかり、だいちが7月13日(金)めばえ、ふたばは7月20日(金)頃からプールあそびを予定しています。手紙を配布しますのでご確認ください。

・暑い日が続いています。水分補給は、冷たいものでなく常温のものをこまめに摂取するようにしましょう。ひやりんは常温で提供しています

こんなことしたよ♪

12日(火)に歯科健診がありました。ドキドキしながらもみんな口を大きく開けて歯を見てもらいました。健診が終わると歯医者さんに歯ブラシの指導をしていただきました。どうやって磨くと虫歯にならないかなと丁寧に教えていただき、ひかりとだいち組の子どもたちは実際に歯ブラシを持ってやってみました。友だち同士で見あいながら、「じょうず!」「ぴかぴかにできたね」など声を掛け合っていました。

今回の指導を今後も実践して虫歯のない丈夫な歯であってほしいです。



☆お願い☆

- ・7月下旬～9月上旬にかけて職員が夏休みをとります。8月のお盆は家庭保育にご協力下さい。
- ・幼児パンツの貸し出しはありません。不足の時は買い取りとなります。次月の諸費で請求させていただきます。(1枚250円です)
- ・日割りで延長保育を利用される方は、17時30分までにお電話下さい。早めにお知らせください。



《7月の予定》

3日(火) やまグループお出かけ

4日(水) つぼみ懇談(17:30～)

5日(木) かえでカフェ

6日(金) セタまつり

夕方コンサート(16:00)

9日(月) そらグループお出かけ

10日(火) 保育支援 救急セミナー

12日(木) 保育支援 育児カウンセリング

13日(金) うみグループお出かけ

17日(火) プール開始(2～5歳児)

誕生会

19日(木) 保育支援 スマイル

20日(金) 月例健診

八川さんとあそぼう

0・1歳児 プール開始

21日(土) ダンディ・タイム

25日(水) そうめん流し

絵画・・・11日(水)、26日(木)

体操・・・5・12・19・24日

※7月26日(木)→7月24日(火)に振り替えになります

《8月の予定》

- ・体操・・・2・9・23・30日(木)
- ・10日～18日できるだけ家庭保育にご協力下さい。